



ロールとユーザ グループ

Cisco Unified CallManager の管理機能は、ユーザ ロールとユーザ グループを使用して、さまざまなレベルの特権 (アクセス) を提供します。この手法により、選択されたユーザ グループに必要な特権だけを与えることが可能になり、特定ユーザ グループ内のユーザが実行できる設定機能を制限します。

ロールとユーザ グループについて、次のトピックで説明します。

- [概要 \(P.4-2\)](#)
- [ロール \(P.4-2\)](#)
- [ロール アクセス特権 \(P.4-3\)](#)
- [ユーザ グループ \(P.4-4\)](#)
- [アクセス ログ \(P.4-4\)](#)
- [エンタープライズ パラメータ \(P.4-5\)](#)
- [標準ロールとユーザ グループ \(P.4-5\)](#)
- [参考情報 \(P.4-6\)](#)

関連項目

- 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「ロールの設定」
- 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「ユーザ グループの設定」

概要

ロールとユーザグループにより、Cisco Unified CallManager の管理ページおよびその他のアプリケーションに複数レベルのセキュリティが提供されます。このシステムでは、Cisco Unified CallManager の管理ページおよびその他のアプリケーションから利用可能なリソースが、いくつかのロールにグループ化されます。各アプリケーションには、標準の事前定義ロールが付属しています。各アプリケーションでは、Cisco Unified CallManager の管理ページ用に独自のアクセス特権が定義されます。

管理者は、アプリケーションにロールを追加設定できます。一部のアプリケーションでは、ロールにアプリケーションを構成するリソースのリストが含まれています。管理者は、ロールを構成する各リソースごとにアクセス特権を定義します。Cisco Unified CallManager の管理アプリケーションの場合、アクセス特権は *read* と *update* です。その他のアプリケーションでは、独自のアクセス特権が指定されます。

アプリケーションにロールを設定後、管理者はユーザグループを設定できます。ユーザグループでは、割り当てられたロールの共通リストを共有するユーザのグループが定義されます。ユーザグループは、アプリケーションユーザとエンドユーザの両方で構成されます。

ロール

ロールには、Cisco Unified CallManager の管理アプリケーションなど、アプリケーションのリソースの集合が含まれます。ロールには、デフォルトロールと管理者が定義するカスタムロールという、2つのタイプがあります。アプリケーションの標準ロールは、アプリケーションのインストール時に作成されます。管理者は、カスタムロールを定義できます。



(注)

すべての標準ロールはインストール時に作成されます。標準ロールは変更や削除できませんが、コピーすることで、標準ロールに基づいた新しいカスタムロールを作成できます。

ロール アクセス特権

Cisco Unified CallManager の管理アプリケーションでは、特定のロールを構成する各リソースに、次のいずれかのアクセス特権が適用されます。

- Read
- Update



(注)

その他のアプリケーションでは、独自のアクセス特権が指定されます。

Cisco Unified CallManager の管理アプリケーションへ関連付けられている各ロールごとに、それぞれのリソースへのアクセス用に次のいずれかの特権レベルが適用されます。アクセス特権によって次の特権が指定されます。

- アクセス特権 *Read* では、特定のリソースに対して定義されたこの特権を持つユーザグループのユーザが、そのリソースを構成するウィンドウを表示することだけができ、ウィンドウを変更できないことが指定されます。アクセス特権 *Read* では、ウィンドウへのアクセスが読み取り操作だけに制限されます。[挿入]、[削除]、[更新]、[リセット]などのボタンは表示されません。
- アクセス特権 *Update* では、特定のリソースに対して定義されたこの特権を持つユーザグループのユーザが、そのリソースを構成するウィンドウの表示と変更ができることが指定されます。Update 特権を持つユーザは [挿入]、[削除]、[更新] および [リセット] などの操作を行うことができ、[Cisco Unified CallManager の管理] ウィンドウおよび [Cisco Unified CallManager Serviceability] ウィンドウからプロセスやサービスを開始または停止できる管理機能も実行できます。

インストールを行うと、各アプリケーションごとに、インストール時に作成されるロールヘデフォルトのアクセス特権が割り当てられます。



(注)

標準 CCM 管理ユーザ ロールを持つユーザは、Cisco Unified CallManager の管理のユーザ インターフェイスにアクセスできます。このロールは、すべての管理タスクの基本ロールであり、認証ロールとして働きます。Cisco Unified CallManager の管理ページでは、このロールは Cisco Unified CallManager の管理ページにログインするために必要なロールとして定義されています。

標準 CCM 管理ユーザ ロールには、Cisco Unified CallManager の管理ページにログインする以上の権限はありません。ユーザから管理可能な Cisco Unified CallManager の管理ページの部分を定義するためには、管理者が別の許可ロールを追加する必要があります。Standard CCMADMIN Administration ロールを使用すると、Cisco Unified CallManager の管理ページのすべてで、アクセスと変更を行うことができます。



(注)

標準 CCM 管理ユーザ ロールだけを持つユーザは、Cisco Unified CallManager の管理ページにアクセスできますが、変更はできません。Standard CCMADMIN Administration ロールだけを持つユーザは、変更することはできますが、Cisco Unified CallManager の管理ページへのエントリを認証できません。

したがって、ユーザは、Cisco Unified CallManager の管理ページにアクセスするための標準 CCM 管理ユーザ ロールと、システムを管理するためのそれ以外のロールを少なくとも 1 つ持っている必要があります。

ユーザグループ

ユーザグループは、ロールの共通リストをユーザグループ内のメンバーに割り当てることを目的として、グループにまとめられた Cisco Unified CallManager アプリケーション ユーザとエンドユーザの集合から構成されます。

あらかじめ定義されたさまざまな名前のユーザグループがありますが、インストール時にはどのグループにもメンバーが割り当てられません。Cisco Unified CallManager スーパーユーザ、またはユーザグループ設定にアクセスできるユーザは、そのグループにユーザを追加する必要があります。スーパーユーザ、またはユーザグループ設定にアクセスできるユーザは、必要に応じて追加の名前付きユーザグループを設定することができます。



(注)

標準 CCM スーパーユーザグループは、すべての名前付きロールに対するフルアクセス権限を常に持つ名前付きユーザグループを表しています。このユーザグループは削除できません。このグループに対してはユーザの追加および削除だけが可能です。



(注)

CCMAdministrator は、常にスーパーユーザを表します。

ユーザグループの全リストについては、P.4-5 の「標準ロールとユーザグループ」を参照してください。

アクセスログ

ログには、試みたアクセスおよび変更に関するファイルレポートが含まれます。つまり、Cisco Unified CallManager の管理ページは Cisco Unified CallManager の管理ページを使用してディレクトリまたはデータベースコンポーネントにアクセスまたは変更を試みた記録を生成します。変更記録には、ユーザ名、日付、時刻、変更に使われたウィンドウ、および成功または失敗の更新状況が含まれます。

エンタープライズパラメータ

ロールとユーザ グループは、Effective Access Privileges For Overlapping User Groups and Roles エンタープライズパラメータを使用します。

Effective Access Privileges for Overlapping User Groups and Roles

Effective Access Privileges For Overlapping User Groups and Roles エンタープライズパラメータは、複数のユーザ グループに所属し競合する特権を持つユーザのアクセス レベルを決定します。

このエンタープライズパラメータは次の値に設定することができます。

- [Maximum]：有効な特権は、重複するすべてのユーザ グループで最大限の特権になる。
- [Minimum]：有効な特権は、重複するすべてのユーザ グループで最小限の特権になる。

Effective Access Privileges For Overlapping User Groups and Roles エンタープライズパラメータのデフォルト値は [Maximum] です。



(注)

このエンタープライズパラメータは、標準 CCM スーパーユーザ ユーザ グループのメンバーの特権に影響を与えません。

標準ロールとユーザ グループ

Cisco Unified CallManager の管理をインストールすると、標準ロールと標準ユーザ グループが作成されます。標準ロールと標準ユーザ グループのリストは動的であることに注意してください。

Cisco Unified CallManager の管理ページの標準ユーザ グループでは、さまざまな機能に対するロールと権限の事前定義されたセットが提供されます。管理者は、ユーザ グループ、ロール、および権限を管理して、システム ユーザのアクセス レベル（したがって、セキュリティ レベル）を制御できます。管理者は、ユーザが使用しない機能を無効にしたり、標準機能を変更したりして、セキュリティを強化できます。

Cisco Unified CallManager では管理者がユーザ グループ、ロール、およびリソースを管理できるため、特定のユーザ グループまたはロールが変更されないままであるという保証も、管理者が事前定義されたユーザ グループまたはロールを使用するという保証もありません。

特定のユーザ グループおよびロール（特にアプリケーションに関連するユーザ グループおよびロール）には、管理者が認識しておく必要のある制限があります。たとえば、アプリケーションユーザとエンドユーザの両方を追加することにより、Standard EM Authentication Proxy Rights ユーザ グループを変更できます。プロキシによる認証はアプリケーションが使用するためのものであるため、このユーザ グループに追加されたエンドユーザはプロキシで認証できません。

標準ロールと標準ユーザ グループは削除できませんが、CCMAdministrator は標準ロールまたは標準ユーザ グループを変更できます。

参考情報

関連項目

- 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「ロールの設定」
- 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「ユーザグループの設定」
- [アプリケーションユーザとエンドユーザ \(P.21-1\)](#)
- 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「アプリケーションユーザの設定」
- 『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』の「エンドユーザの設定」

参考資料

- Cisco Unified CallManager インストレーションガイド
- Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド
- Cisco Unified CallManager Serviceability システムガイド
- Cisco Unified CallManager Serviceability アドミニストレーションガイド